

わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します！



まいちよ通信

2025年
冬号
VOL.12



緩和ケア委員会スタッフ

特集

～もしもの時自分はどう生きたいかについて話しあう～

〈その他内容〉

●小児科外来クリスマス会

●オレンジリボン運動取り組みのご報告



西伯病院の緩和ケア委員会の活動の一つとして「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」の普及啓発を行っています。

今回この「人生会議」を行うための一助として「わたしが大切にしたいこと」というアンケートを作成いたしました。

アンケート形式としていますが、あなたやご家族・大切な方と一緒に「人生会議」を考えていただくことで、“もしも”のときに、あなたの望みを叶える手がかりとなることを願っています。

緩和ケア委員長 村田 裕彦



アンケート（一部抜粋）

わたしが大切にしたいこと

【記載日 2025年 2月20日 時点での思いです。】

- ・この用紙は同意書ではありませんので法的な拘束力はありません。
- ・当てはまらない質問や答えづらい質問は、**空欄でかまいません**。
- ・身体や心の状態の変化によって気持ちは変わるものです。この希望はいつでも修正ができます。

（記載例：当てはまる事柄に 印を付けたり、その他に自由に記載したりしてご利用ください。）

患者様ご本人の氏名（ 西伯 花子 ）

患者様ご本人の生年月日 ☐大正 ☒昭和 ☐平成 ☐令和 24 年 1 月 12 日

◆本人が記入または意思決定ができない場合（代理人：ご本人の意志を推定可能なご家族等）

☐ 本人の思いが聞けていないのでわからない → 本アンケートをきっかけとしてご利用いただけたら幸いです。

☒ 本人に思いを聞いているので代筆します お名前（ 西伯 太郎 ） ご関係（ 長男 ）

◆記入について

☒ 初めて記入します

☐ 以前記入した内容を修正します

☐ 以前記入した内容と変更ありません



～ふだんの生活の中で思っていること～

◆あなたが大切にしたいと思っていること、医療者に知っておいてほしいことは何ですか？（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| ☐ 身の回りのことは自分でしたい | ☐ 自然に近い形で過ごしたい |
| ☐ 痛みや苦しみが多くなく過ごしたい | ☒ 自分の話を聴いて欲しい |
| ☐ 生きていることに価値を感じていたい | ☐ 自分の体の変化を知りたい |
| ☐ 他人に弱った姿を見せたくない | ☐ 納得いくまで十分な治療を受けたい |
| ☐ 家族や友人と十分に時間を過ごしたい | ☒ 1日でも長く生きたい |
| ☐ 家族や周囲の人の負担になりたくない | ☐ できるだけ口から食べたい |
| ☐ その他（ ） | |



◆あなたのことを1番わかってくれる人は誰ですか

- ☐ 配偶者 ☐ 親 ☐ 兄弟 ☒ 子供 ☐ 親戚 ☐ 知人 ☐ 医療従事者 ☐ 今はいない
☐ その他（ ）

◆この先心配なことは何ですか

- ☐ 体のこと ☐ 病気のこと ☒ 家族のこと ☐ お金のこと ☒ 田畑のこと ☐ 仕事のこと
☐ その他（ ）

⋮ （続きあり）

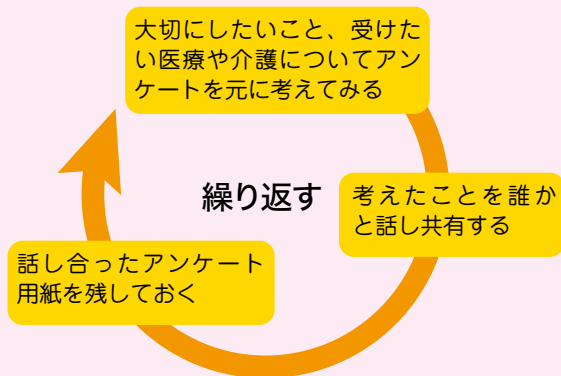
～もしもの時自分はどう生きたいかについて話しあう～

私たちは誰でも、いつでも、突発的な命に関わる病気やけがをする可能性があります。命の危険が差し迫った状況では、約70%の方が、これからの医療や介護の事を自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなると言われています。「もしも」のときに備えて、あなたのこと、あなたの大切にしていること、どこでどのような医療や介護を望んでいるか等について、自分自身で考え、家族や医療・介護のケアチームと話し合い、自分の思いを共有する事それが、

エーシーピー

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）：人生会議です。

皆さんは住み慣れた町で在宅生活を続けていくことが難しい状況になったとき、どんなことを望むでしょうか。もしもの時の医療・介護・療養についてこれまでに考えたこと、だれかと話し合ったことはありますか。まいちよこ通信を通じてACPという言葉やその意味に多くの方が触れていただける機会になることを願っています。また、西伯病院の患者様のために「わたしが大切にしたいこと」というアンケートを作成しました。



「もしも」があってからでは考え話し合う時間の余裕がないかもしれません。時間の余裕があるときに健康状態にかかわらずまずは家族や親しい人と話をしてみましょう。考えは変わるものです、あとで変えてかまいません。

話し合いながら考えていくその過程や思いが共有される機会が大切です。

当院では、以前より終活手帳の配布も行っています。終活手帳は自分自身に万一のことがあったときに備えて自分史や財産の状況、葬儀の希望など人生の最後に必要な情報が主な内容となっています。目的にあわせ今回のアンケートとともに役立ててください。

- アンケートは西伯病院1階内科受付向かい側に設置しておりますので、ご自由にお持ちください。

- 患者様のなかで本アンケートの保存をご希望の方は各科外来受付に提出ください。

共有させていただいた内容は自分の意思を伝えられなくなったときにあなたの代わりに医療やケアについて難しい決断をする場合の手助けになります。

あくまでも記載時点での参考とします。いつでも変更可能です。





★★ 小児科外来 クリスマス会 ★★



12月3日と5日の夕方、インフルエンザの予防接種が終わった後にクリスマス会をしました。まずはじめに動物パペットたちがハンドベルでクリスマスソングを演奏し、その後、サンタさんが登場！子どもたちにプレゼントを配ってくれました。2日あわせて17人の子どもさんとその保護者さんが参加して下さいました。子どもたちにとって病院は決して楽しい場所ではないでしょうし、ましてや注射となると嫌な気持ちでいっぱいになると思います。そういった気持ちが少しでも和らぐようにと企画しました。プレゼントはクリスマスカードに子どもの病気についてのリーフレットを添え、ホームケアに役立ててもらえるように準備しました。手作りでささやかな会ではありましたが、子どもたちが、普段病院では見られないようなとってもいい笑顔を見せてくれて嬉しかったです。スタッフも自然と笑顔になりました。ありがとうございました。これからも子どもたちや保護者さんの気持ちに寄り添い、身近な小児科でいられるようにしていきたいです。



オレンジリボン運動取り組みのご報告



11月にマルトリートメント対策委員会による子ども虐待防止への意識向上のためオレンジリボン運動を行いました。職員への院内研修を兼ねての取り組みで、啓発ポスターを掲示し、虐待防止への意識を表すための小さなオレンジリボンを貼り付けていただきました。患者様、職員併せて350個近く、それぞれの思いが小さなリボンとなり、大きなオレンジリボンが完成しました。子どもたちへの優しい気持ちを胸に、引き続き、西伯病院では子ども虐待防止への意識を高め、活動していきたいと考えております。



南部町国民健康保険西伯病院

〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭397

TEL 0859-66-2211 <https://www.saihaku-hospital.com/>

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしております。

